

海風 UMIKAZE Vol. 13

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



Contents

- 2P 開院5年目を迎えて・平成30年度入職式
- 3P 新入職歓迎会
- 4・5P みなと院内旅行
- 6P みなとリハの行事/みなとレポート
- 7P 入院患者様統計データ

2018

開院5年目を迎えて

千葉みなとリハビリテーション病院

インド独立の父、マハトマ・ガンディーはこう言ったといひます。

「明日死んでもいいように生きよ」

卓越したマラソン・ランナーの有森裕子さんも、

「明日、地球がなくなってもかまわない」と言ったとか。

毎日を悔いを残さないように生きるべしとは、その道を極めた達観

するものの言葉で、およそ凡人には真似できない態度でしょう。

しかし冒頭のガンジーの言葉には続きがあります。

「永遠の命があるように学べ」

当院も開院から5年目を迎えました。常套になずむこと

なく、学び続けていきましょう。



院長
片山 薫



平成30年度 入職式

生き生きとしたエネルギーに満ち溢れている皆さんをお迎えすることができ、職員一同、大変嬉しく思います。期待、緊張、不安、さまざまな思いを抱えているとは思いますが、一日も早く職場に慣れ、思う存分、力を発揮して下さい。仕事を通じて自己を磨き、人間として大きく成長することを強く望みます。若いうちはとにかく何でも吸収できます。貪欲に、柔軟に、広い視野でいろんなことを学んでいってください。また皆さんの自由な発想と若い感性で、先輩達を大いに刺激してください。

患者様、ご家族様にとってより質の高いリハビリテーション医療を提供できるよう、病院職員一丸となって頑張っていきたいと思います！ リハビリテーション科 係長 吉野 雄志



千葉みなとリハビリテーション病院に入職できたことを大変うれしく思います。初日から学生時代に感じるこのなかった緊張感に溢れ、不安と同時に楽しみに思う場面が多くありました。現在は先輩のセラピストの方々から、どのような目的で患者様と向き合い、リハビリを行っているのかを教わっただけでなく、多職種の方々とどのように携わっていくのかなど様々なことを学ばせて頂いています。



今後、私たち新入職員もしっかり患者様と向き合い、先輩方の力をお借りしながら、いかに質の高いリハビリを行うことができるかを考え、日々精進してまいります。まだまだ不慣れでご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

新入職員代表 リハビリテーション科 作業療法士 杉山 諒

2018

新入職歓迎会

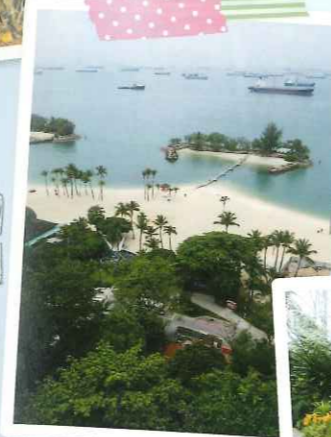


グアム

1月27日。それはそれは寒い日でした。ダウンジャケットに身を包み、ネックウォーマーとニット帽によって身を守らねば、バナナも凍るような極寒の地、東京。

それを忘れさせてくれる夢の島グアム。初日から肉と酒でパラダイスの味を噛みしめ、毎朝お肉の詰まったサンドイッチとコーラで腹を満たし、それでも負けない消費カロリー。カヤックで透き通る海を満喫し、ジェットスキーで荒波を潜り抜け、地元のおじさんと全力ビーチバレーで戯れる。山ではバギーで暴れまわり、数度ある休憩で川と滝で癒される。瞬く間に流れるグアム時間で、忘れる事が出来ない。現地のおじさんがナタでズバズバと切ってくれたココナッツ。微妙でした。

リハビリテーション科 理学療法士 波多野 大祐



シンガポール

院内旅行で同期とシンガポールへ行きました。日本の気候とは違い現地は30度以上でとても暖かく、まるで夏を先取りしたようでした。

気候にも恵まれ、マライオンや植物園など、日本ではみられないような綺麗な景色やおいしい料理を楽しむことが出来、心身ともにリフレッシュすることが出来ました。みなさんも夏休み等を利用して、日常を少し離れてリラックスした時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

リハビリテーション科 言語聴覚士 山口 沙希子



金沢

2月15日から一泊二日で金沢に行ってきました。和倉温泉加賀屋という金沢の有名老舗旅館に泊まりました。一流のおもてなしを体験しながら豪華な食事を頂きました。

その後は雪景色を見ながらゆっくりと温泉につかりました。二日目の自由時間は茶屋街に移動し、どうしても行きたかったパンケーキ屋でランチをしました。中年男4人ともパンケーキが好きという事もあり、長い行列にもワクワクしながら並んだこと、おしゃれな店内に入った時のドキドキ、あの甘い香り、一口目のフワトロな口触りは一生忘れる事はありません。

今回の旅行は一年間一生懸命動いた自分への最高のご褒美となりました。このような機会を頂きありがとうございます。

リハビリテーション科 理学療法士 保科 憲幸



院内旅行

ローマ

院内旅行でローマに行きました。日本との時差は約8時間、季節は冬なのでとても寒かったです。有名な美術館や真実の口、トレビの泉など人気の場所を観光しました。

中でもバチカン市国にあるサンピエトロ大聖堂、バチカン美術館は圧巻でした。パスタやピザなど美味しい料理もたくさん食べてとても楽しい旅行になりました。まだまだ観光したいところがたくさんあるので、またローマを訪れたいと思います。

リハビリテーション科 理学療法士 鈴木 智美



ダナン

院内旅行でベトナム ダナンに行ってきました。

初めてのベトナムで、バイクの交通量の多さや交通ルールなどにもびっくりしながらの旅でしたが、新鮮なシーフード料理やご当地麺料理を食べたり、世界遺産の観光をしたりして楽しく過ごしてきました。ベトナムと言えば「フォー」が有名ですが、汁なし和え麺の「ミークワン」や朝食としても人気の「ブンチャーカー」など、初体験の食事でも美味しくいただきました。ダナンは、古都ホイアンやミーソン聖域、フエの建造物群などの世界遺産までのアクセスが良く、観光しやすい都市でした。特にホイアンでは、日中の街並みも素敵でしたが、夜になるとランタンが街中に灯り、とても幻想的でした。

5日間たくさんの経験をし、充実した時間を過ごす事ができました。皆様も機会がありましたら是非足を運んでみてください。

リハビリテーション科 作業療法士 植村 綾子



カナダ

カナダのイメージは、日本より緯度が高い為寒いのではないかと心配していましたが、日本と気温の変化はなく過ごしやすかったです。また、治安、気候、社会基盤が整っている為住みやすいランキングでもいつも上位にあがっているそうです。

観光場所としては、バンクーバー市内、キャピラノ吊り橋、ウイスラーに行ってきました。バンクーバーという都市は移民者が多い為、多種多様な文化に触れる事ができ、魚介類を中心とした料理を堪能する事が出来ました。

また、バンクーバー近郊にあるキャピラノ吊り橋、ウインタースポーツで有名なウイスラーでは、壮大なカナダの大自然を肌で感じられ、日本では経験出来ない事が出来たと思います。

リハビリテーション科 理学療法士 井手 健太



みなとリハの行事

2018
3.3
(土)

ひな祭り

リハビリの一環として、寿司ひな人形を作ってお祝いしました。桜色の酢飯にハムの着物や三つ葉の扇子、うずらの卵を顔に見立てて、海苔で目や口を作る細かい作業を皆さん夢中で作られていました。最後に出来上がった素敵なお雛様と一緒に記念撮影をして、患者様と職員で美味しく頂きました。笑顔の絶えない素敵な桃の節句となりました。



2018
3.14
(水)

ホワイトデー

今回は、普段料理をする機会の少ない男性の患者様に、簡単に作れるチョコチップスコーンに挑戦して頂きました。ホットケーキミックスにチョコチップやバターを混ぜ、形を整えてオーブンで焼くという、初めての経験に皆さん緊張されていましたが、スコーンのトッピングに、奥様やご家族の名前を書いている姿はとても微笑ましく感じました。リハビリを頑張って、自宅で家族にも作ってあげたいと患者様同士で楽しくお話ししていらっしゃいました(^^)



2018
4.13
(金)

スプリングコンサート

今年も「ミュージェ」の大上千枝さんにお越しいただき、スプリングコンサートを開催しました。ミュージェさんは千葉市在住のピアノデュオでジャンルを問わず様々な曲を演奏し活動されています。今回ご都合が悪く、ソロでの演奏になりましたが、「ふるさと」「千の風になって」他5曲を歌とピアノで演奏していただきました。今回のプログラムでは、聞くだけではなくその演奏に合わせて手拍子や歌を歌い、患者様も参加しながらの楽しいコンサートとなりました。



Minato Report

第10回 関東カマテグループ合同学術研究大会 2018年2月24日(土)



毎年9月・2月に、関東のグループ病院が一堂に集結し合同学術大会が開催されます。当院からは3演題を発表しました。残念ながら受賞はなりませんが、日々業務の合間に研究された演者の皆さん、お疲れ様でした。研究は統計を用いた分析や症例報告など多岐にわたります。今後の日常業務に活かせるよう、発表して終わりではなく全職種で共有することが大切です。医療従事者としてこれからも信頼される医療、地域医療に誠心誠意取り組んでまいります。

演題内容
 「当院における大腿骨近位部骨折患者の栄養状態とADL能力 ～Alb値の増減に着目して～」 / リハビリテーション科
 「看護師の褥瘡ケアの統一を図る取り組み ～褥瘡マニュアルを有効に活用するために～」 / 看護部
 「当院の入院患者様における相談例」 / 薬剤科

おむつの勉強会

2018年4月13日(金)

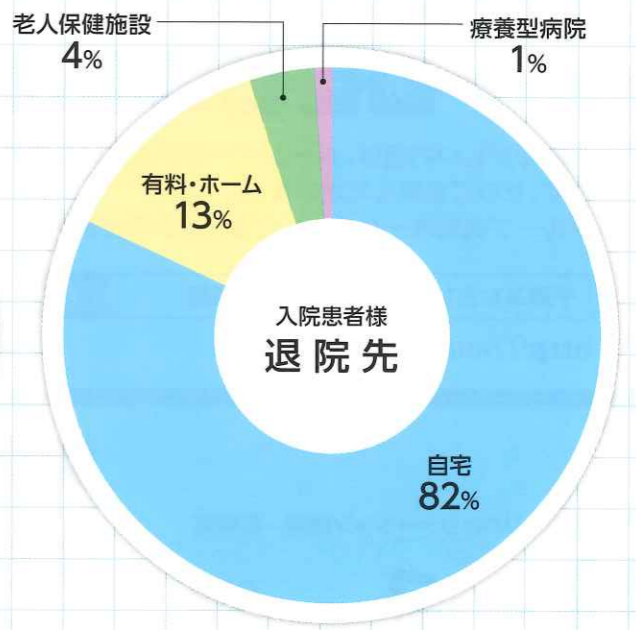
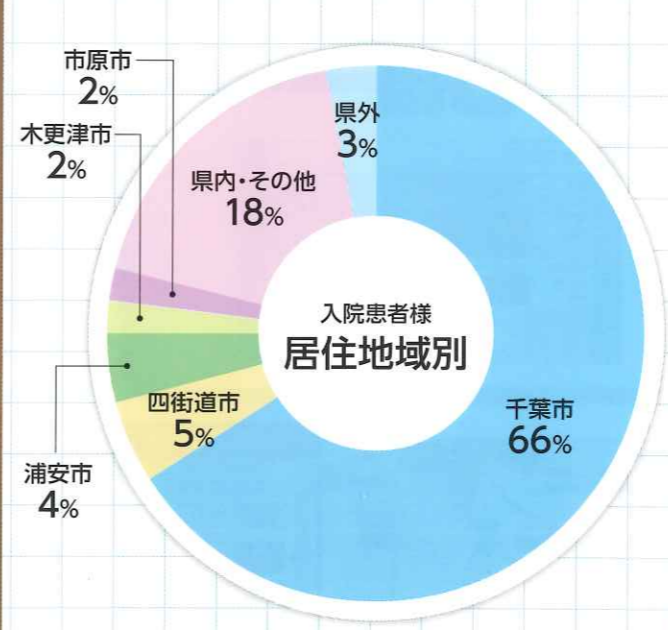
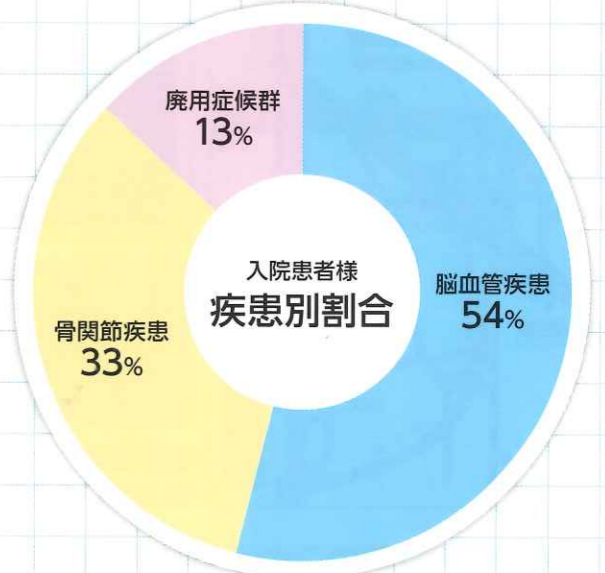
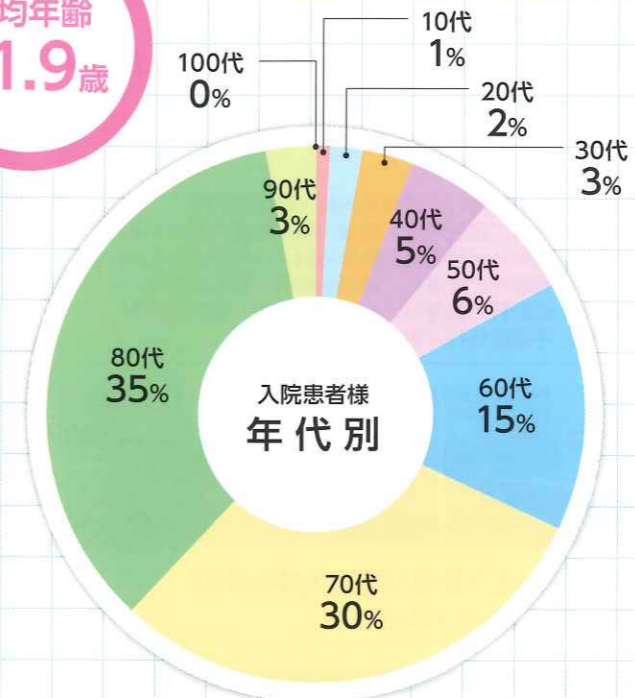
院内に於いておむつの正しい使用方法についての勉強会を実施しました。おむつの選定の仕方については、患者様の体系や状態によって使用サイズや種類が変わってきます。その判断は現場の看護師やケアワーカーにゆだねられます。しかしその判断には個人差があり、院内でバラつきが出ます。そのためには定期的に勉強会を実施し、おむつの選定や使用方法を院内で統一することが重要になってきます。おむつを付けるということは、一見誰にでもできる簡単なことと思えますが、その吸収力を最大限に活かすには、ひとりひとりの患者様にあった選定方法や装着方法が大事なことで、再確認ができました。この勉強会で学んだ知識を活かして、今後とも患者様により良い入院生活を提供していきたいと思っております。



患者様統計データ

平成29年10月～平成30年3月 患者数336名(再入院除く)

平均年齢
71.9歳



患者様1人あたりリハビリ提供数	平均入院日数	新規入院患者様の重症度割合	重症患者様改善率
8.74単位	85.2日	42.7%	64.5%
※1単位=20分			
日常生活自立度(FIM)	入院時平均	退院時平均	利得平均(回復度)
	62.2	87.5	25.3

在宅復帰率
92.6%
※急性期への転院除く

グループ病院のご紹介

東京品川病院



医療法人社団緑野会 東京品川病院は、東芝病院を譲り受け、これまで培ってきた急性期医療に加え救急医療及びリハビリテーションも強化し、「脳神経外科」「脊髄脊椎外科治療センター」「乳腺外科」「婦人科」「回復期リハビリテーション病棟」を新しく加えて平成30年4月にスタートしました。24時間365日紹介状をお持ちでなくても診療いたします。



病床数	296床
診療科目	総合内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科 代謝内分泌内科／血液内科／腎臓内科／神経内科／外科 婦人科／小児科／泌尿器科／整形外科／リハビリテーション科 眼科／耳鼻咽喉科／皮膚科／神経精神科／緩和ケア科 放射線科／麻酔科／病理科／歯科口腔外科／脳神経外科 乳腺外科／呼吸器外科／救急科



■ 所在地 〒140-8522 東京都品川区東大井6-3-22
■ お問い合わせ先 TEL 03-3764-0511

ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMIKAZE 風 Vol. 13

平成30年6月発行

企画発行所 千葉みなとリハビリテーション病院 広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL : 043-245-1555 / FAX : 043-245-1558



駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いします。

- 電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩8分
- バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば(県立美術館入口下車)